

令和4年度 第2回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和4年10月24日（月） 14：00～15：15

開催形態：オンライン開催（Zoomを活用）

出席者：足立評議員、岡村評議員、永嶋評議員、藤本評議員、古川評議員、
牧田評議員、森下評議員、森藤評議員、山田評議員（五十音順）

議 事：1. 令和5年度保険料率について
2. 令和5年度静岡支部事業計画及び保険者機能強化予算について

○議事の経過

1. 令和5年度保険料率について

資料1に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

5年収支見通しにおける前提について、2024年度以降の賃金上昇率については、これまでのトレンドから3つのケースを設定しているが、現在、物価が急激に上昇している中で、名目賃金もおそらく上がってくるので、この前提は低すぎではないか。

一方で、同じく物価上昇により、薬価を含む診療報酬も予想より上がるので、支出も増えてくると考えられる。

そのような現在の状況を踏まえて、どのように試算の見直しを行うのかお聞かせ願いたい。

（事務局）

世界的なインフレや物価高騰があり、今後は労働者人口の減少も予測されている中、1人当たりの生産性の向上のためには、賃金の上昇も考えられます。

今回の試算においては、昨年9月以降の平均標準報酬月額の前年同月比が1%台後半の伸びになっていることを踏まえると、高めに推移するだろうと予測しています。また、適用拡大の影響では、比較的賃金の低い方が共済組合に移行すると見込まれており、協会の平均標準報酬月額に対してはプラスにはたらくと予測しています。

けれども、現在の情勢に鑑みると経済状況の先行きについては不透明で、今後の予測は難しいです。そのため、過去の試算方法と大きな乖離が無いよう配慮

する必要がありと考えており、3年目以降の賃金上昇率は、これまでと同様の条件で試算しています。

〈議長〉

令和5年度保険料率については、承認ということでしょうか。

〈評議員一同〉

異議なし。

2. 令和5年度静岡支部事業計画の実施結果について
資料2及び参考資料に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

就労世代だと忙しく、運動をはじめとした健康づくりは、余程意識しないと時間を作れない。また、工場勤務のように休憩時間が限られていると、短時間で脂っこい食事をしてしまいがちになる。生活習慣や食事習慣に対しても対策が必要だと感じる。

(事務局)

工場勤務のように特定の業種へのアプローチは必要だと考えています。保健指導の中で食事指導のようなことは実施していますが、特定の業種への介入として有効な方法を検討します。

〈評議員〉

医療費が増え続けていくこと、健康づくりの実践により医療費の抑制をしていくことなどは、就労前段階からの認識が必要である。高校や大学への介入は難しいかもしれないが、学生への意識づけは大事なので学校教育の活用を検討してみてもどうか。

(事務局)

若い世代は、社会人になって目の前の仕事に追われて、自分の食生活や生活習慣に重きを置けないケースが多いのかもしれませんが、ご提案いただいたように、協会職員が学校へ赴いて、学生へのアプローチができればよいと考えています。

(事務局)

過去には、学生さんたちに、親への健康に配慮したお弁当を企画・作成してもらい「お弁当甲子園」という事業を実施し、好評でした。来年度以降も、若年層の加入者と健康をうまく繋げられる事業を考えていきたいと思っています。

〈評議員〉

地域別の健診結果を見ると、県東部の方が悪い傾向にあると見てとれるが、代謝リスクについては、県西部も課題がありそうである。現時点で何か原因はつかめているのか。

(事務局)

県の調査によると、県西部は「いも」や「果物」を多く食べることが分かっており、血糖値の上昇との関連性が示唆されています。これらの地域特有の傾向を踏まえつつ、更なる分析を進めていきたいと考えています。

〈議長〉

令和5年度静岡支部事業計画及び支部保険者機能強化予算については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし